

魚沼高齢協  
第32号  
2016・7・15

# ふれあい

魚沼高齢者協議会  
882-4818

## 新任のご挨拶

会長 長田良治

このたび、第十七回総会で町田さんの後を引き継ぎ、新会長になりました長田です。出身は新潟県退職者の会南魚沼支部です。もとより未熟者であり、力量不足の感は否めませんが幹事の皆さんに支えられ精いっぱい役目を全うしたいと思っております。よろしくお願い致します。

さて、魚沼高齢協は活動財源を全面的に連合新潟に依存しながら今日に至っていますが、節目を迎えています。新潟労働福祉協会の果実たる福利金の労働組織に対する還元が困難になることを背景として、連合新潟として今までどおりの財政的支えが困難になるため、二年間かけ地域高齢者組織の再編見直しを進めようとしています。新体制に移行までの間、なるべく活動に影響が出ないよう財政的配慮も行われる見込みです。

ともあれ、こうした状況を踏まえ、魚沼高齢協としてスムー

ズに新体制に移行できるように会員、組織間の意識共有を図り、会員の総意を基に新組織体制への移行を進めてまいります。

## 退任に当たって

前会長 町田紀夫

過日の定期大会をもちまして、魚沼高齢協の代表を退任させていただきました。定年退職後、事務局、代表合わせて十年間、非力にもかかわらず、有能な幹事の皆さんに支えられながら携わることができました。

当会は小出郷勤労会館に同居させていただき、落ち着いた会務を遂行できました。しかし、連合新潟魚沼地協は中越地協に再編され、会館の建物すら無くなつてしまい、今日の諸会合は有料の施設を使用してきました。さらに連合新潟高齢協自身財政上ピンチを招き、地域高齢協も苦しい運営が強いられることは免れません。このようなピンチの時に退任するのは、複雑な気持ちです。今後とも、当会の発展のために一会員として支えて行く覚悟を新たにしています。これまでのお力添えに感謝し退任の御挨拶いたします。





## 「JR総連のOB連絡会」組織紹介

長岡支部 渡部 良司

JR総連OB連絡会は、「JR東労組新潟地本OB会」（60名）と「JR貨物労組新潟支部OB会」で構成されています。JR各社は60歳定年制で、65歳まで希望によって努めることが出来る再雇用制度があります。OB会への加入は60歳からの希望制です。悩みは、会員の高齢化と、加入者が少なくなり会員が減少している事です。魚沼高齢協議会には小千谷市、魚沼市、南魚沼市、越後湯沢町在住の24名が加入しています。

現役時代の仕事は、運転士、車両の修繕、駅業務、保線業務、電力・通信業務、信濃川発電所関係業務と多岐に渡っています。

私達の活動は、「全会員が参加し、楽しいOB会を創ろう！」をスローガンに活動しています。地域の各労働組合のOBの皆様と「地域包括システムの確立」に向けて取り組み、有意義な人生を送りたいと思います。宜しくお願致します。



## 第十七回定期総会

平成28年度、魚沼高齢協の定期総会が五月二十六日、例年のように会館「魚新」で行われました。長田新会長の新任の挨拶にある通り、今後、連合新潟高齢協の活動資金が見こめなくなるなど運営面の厳しさも話題になりました。活動そのものは大きく変わらないとしても、予算面では苦しい運営になることが予想できます。

さて、今回の総会にも多くの方に出席して頂きましたが、連合新潟の林事務局長は、「組織維持の厳しい時期となるが、元氣の出ない現役（組合員）を激励すると共に、作年度来取り組んできた介護保険地域包括システムの構築のために今後も継続して活動して欲しい」と激励されました。

また、参議院選挙で野党統一候補として立候補した森ゆう子さんが激励に訪れ、「安倍政治の暴走を食い止めるため力を貸して欲しい」と熱く語りました。七月十日の選挙では対立候補の中原弥一氏をわずか二千票という僅差で勝利することが出来ました。皆さんのご協力に感謝致します。有難うございました。

### 新年度役員紹介

- 会長 長田良治（県職労南魚沼）・新任
- 副会長 藤巻繁雄（新高退魚沼）・留任
- 小林謙一（新退教小千谷魚沼）・新任
- 事務局長 佐藤康二（郵政退小千谷）・留任

※ 以上のように承認されました。宜しくお願致します。

